



# システム監査の世界を体験してみませんか？ システム監査を学ぶ3つのコース

<b>入門セミナー</b> (システム監査って、何？)	<b>課題解決セミナー</b> (システム監査は、どう役立つの？)	<b>実践セミナー</b> (システム監査は、どう実施するの？)
システム監査の概要とプロセスの一部を学習します。 ◇システム監査の概要講義 ◇インタビューによる監査 ◇チェックシート作成、発表まで <b>(1日コース)</b>	実際の事故事例をもとにシステム監査のポイントを学びます。 ◇事故障害を防ぐシステム監査 ◇実際の事例紹介 ◇事例によるリスク評価 <b>(半日コース)</b>	ロールプレイングでシステム監査の手順を体験します。 ◇講義、監査計画書作成 ◇インタビューによる監査 ◇監査報告書作成から発表まで <b>(2日間コース)</b>

※システム監査に興味のある方ならどなたでもお申し込みいただけます。お気軽にご参加ください。

## システム監査入門セミナー開催概要

- 【開催日時】平成 22 年 6 月 12 日(土) / 7 月 10 日(土) 10:00~17:00 ※1 回目 2 回目は同内容
- 【会 場】常翔学園 大阪センター (予定) (<http://www.josho.ac.jp/osakacenter/>)
- 【参加費用】5000 円(会員 4000 円)
- 【定 員】16 名 (最小催行人員 8 名)
- 【締 切】5 月 15 日(土) (6 月 12 日開催分) / 6 月 12 日(土) (7 月 10 日開催分)

## システム監査課題解決セミナー開催概要

- 【開催日時】平成 22 年 8 月 21 日(土) 13:00~17:00
- 【会 場】常翔学園 大阪センター (予定) (<http://www.josho.ac.jp/osakacenter/>)
- 【参加費用】5000 円
- 【定 員】20 名(最少催行人数 8 名)
- 【締 切】7 月 31 日(土) ※IT コーディネータ協会知識ポイント (申請予定)

## システム監査実践セミナー開催概要

- 【開催日時】平成 22 年 9 月 25 日(土) 13:00 ~ 26 日(日) 16:30 1泊2日
- 【会 場】三洋電機 研修センター (予定) (<http://jp.sanyo.com/kenshu/>)
- 【参加費用】105,000 円(会員 84,000 円) **早期割引あり(2万円割引)**  
 ※宿泊費、食費、消費税を含む。
- 【定 員】20 名(最少催行人数 8 名) ※ただし、システム監査の予備知識が必要です。
- 【締 切】8 月 28 日(土) ※早期割引期限 7 月 31 日(土)
- 【後 援】近畿経済産業局 (予定)、IT コーディネータ協会知識ポイント (申請予定)  
 ※本セミナーを受講し課題の提出内容が適切と認められた場合には、当協会が認定する **公認システム監査人申請**に必要なシステム監査実務を 6 ヶ月間経験したものとみなされます。

### お申し込み お問合せ先

- お申し込みは下記インターネットから受付しております。  
<http://www.saaj.or.jp> (協会HP セミナーのご案内より)
- お問い合わせは E-mail でお願いします。  
 セミナー係 E-mail: [semi2010@saajk.org](mailto:semi2010@saajk.org)



NPO 日本システム監査人協会

★システム監査人協会へ入会されませんか？ お申し込みは協会HPから <http://www.saaj.or.jp> 毎月の定例研究会・勉強会など、システム監査の知識習得・スキルアップに最適です！！



# “新登場” 事例に学ぶ 課題解決セミナー

…システムの事故・障害を防ぐシステム監査…  
半日コース

情報システムの事故・障害で、企業や顧客が損失を被る事例が後を絶ちません。  
システム監査の専門家が事故・障害の原因を解き明かし、有効な対策を示します。

事故・障害の原因は報道だけでは分かりません。対岸の火事ではないかも知れません。  
リスクとコントロールの視点で分析して、皆様の課題解決に役立つ説明をします。

多様な事例を用いて幅広いニーズに対応します。  
キャリアアップ、システム監査知識向上、システムの信頼性向上などにご活用下さい。

セミナーは  
STEP1～4の順  
に進行します



事故・障害	診断	評価												
<p><b>緊急点検の実施について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重要インフラのシステム障害が相次いで発生していることを受け、官民経済産業大臣の指導により、情報システムの信頼性向上のための重要インフラシステム<sup>(注1)</sup>、及びそれに準ずる企業基幹システムを重点的に18日間でアンケート調査を実施。</li> <li>その結果、ユーザ企業28社から企業66社、合計133設備<sup>(注2)</sup>の41日本調査では、2009年度の売上高ベースで、情報サービス産業約1をカバー。</li> <li>重要インフラシステムの事業分野別の設備数は以下の通り。</li> </ul>														
課題	基準	監査人												
<p>GDPRに關する専門的な知識・経験の有無に付し、結果差による成果</p> <p>決(平成17年度)</p> <table border="1"> <tr> <td>ない</td> <td>4.0</td> <td>29.6</td> <td>40.4</td> </tr> <tr> <td>あり</td> <td>7.5</td> <td>34.1</td> <td>36.3</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>3.0</td> <td>22.4</td> <td>35.9</td> </tr> </table>	ない	4.0	29.6	40.4	あり	7.5	34.1	36.3	不明	3.0	22.4	35.9	<p><b>システム監査制度関連</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム監査基準(平成16年10月公表)</li> <li>システム監査基準(平成8年改訂版)【PDF形式】</li> <li>システム監査企業台帳(平成21年度)</li> <li>システム監査企業台帳に関する規則(平成20年通商)</li> </ul> <p><b>システム管理基準関連</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム管理基準(平成16年10月公表)【PDF形式】</li> <li>システム管理基準(平成16年10月公表)【版説】【P】</li> </ul>	<p><b>14. 公認システム監査人*</b></p> <p>定義：システム監査技術者試験合格者について、実務経験を確立し継続教育を義務付けて「公認システム監査人」(CSA)として認定する制度である。システム監査の実務経験を積む際は、「システム監査人補」(ASA)として認定され、両者ともに一定の継続教育を受けることを義務づけられる。</p> <p>解説：企業構造審議会の情報産業部会・情報人材対策小委員会、その中間報告(1999.8.1)で次の2点の指摘を行った。一つは「システム監査人がユーザの信頼を得るためには、単に知識等に留まるのみならず、実践的監査経験を積むことが重要である。その観点から、従来より実施しているシステム監査技術者試験に合格した上で、一定の有効な実務経験を積んだことを確認することによ</p>
ない	4.0	29.6	40.4											
あり	7.5	34.1	36.3											
不明	3.0	22.4	35.9											
<p>一つの事例を、講義中心(受講者も一部参加)で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ STEP1：事故・障害事例</li> <li>➢ STEP2：事例のリスク</li> <li>➢ STEP3：リスクコントロール</li> <li>➢ STEP4：システム監査による評価</li> </ul>														

半日コース：短時間で全項目を学びます。

○お申し込みはインターネットから受付しております。  
○お問い合わせはE-mail でお願ひします。

<http://www.saa-j.or.jp>  
E-mail:semi2010@saa-jk.org